定

の

研究

概

要

の活

用

性

環境保健センター試験研究計画書

番号	R7-2	課題名	児島湖における水質改善のための実態把握【一部新規】				
期間	令和7~	9年度	担当部課室	環境科学部	水質科		

1 政策上の位置付け

- ・児島湖に係る第8期湖沼水質保全計画(湖沼水質保全特別措置法に基づく計画。以下「湖沼計画」という。)
- ・第3次晴れの国おかやま生き活きプラン(水、大気、土壌などの保全対策の推進)
- ・岡山県環境基本計画「エコビジョン2040」(児島湖再生の推進)

題 2 県民や社会のニーズの状況

・湖沼計画で「難分解性有機物の実態調査の実施」が掲げられており、本庁関係課からも強い要望を受けている。

背 3 県が直接取り組む理由

・湖沼計画において、本調査研究は県が実施することとされているため。

4 事業の緊要性

・児島湖の水質改善は喫緊の課題であるが、児島湖における難分解性有機物の知見が乏しく、難分解性有機物に係る知見の蓄積及び実態把握が急務となっている。

1 日標

・児島湖における難分解性有機物等の実態(採水地点及び水深等による違い)を把握することにより、知見を蓄積するととともに、今後の児島湖の水質改善方策の検討に寄与する。

□ 実施内容

・児島湖における難分解性有機物等の実態を把握し、環境基準の未達成要因等を解析する。

の 3 技術の新規性・独創性

・児島湖における難分解性有機物等に関する知見は乏しい。

4 実現可能性·難易度

· 実現可能性: 中、難易度: 中

5 実施体制 0.5名

成 1 活用可能性

・得られた知見は湖沼計画の遂行に寄与する。

・難分解性有機物等の実態把握により、児島湖の特性がより明確になる。

2 普及方策

・行政機関への情報提供及び学会発表、年報及びセンターだより掲載等

発 3 成果の発展可能性 展・CODの環境基準達成

・CODの環境基準達成に向け、より効果的な水質改善事業の検討の一助となる。

	実施内容		R7	R8	R9	
	難分解性有機物等の実態調査					総事業費 (千円)
	調査結果の解析					\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
実施	計画	事業費	332	332	332	996
計画		一般財源	332	332	332	996
		外部資金等	0	0	0	0
	人件	-費(常勤職員)	4,000	4, 000	4, 000	12, 000
	総事	業コスト	4, 332	4, 332	4, 332	12, 996